

平成 27 年度 第 5 回 理事会議事録

日時：平成 27 年 9 月 29 日（火）19：00～20：15

場 所：県士会事務所

出席：（理事）小林伸、磯野、高村、有泉、藤田、北山、
青柳、古屋、笠井、井村

（委員長）山田、小林司

（部長）鈴木、加納、中込

（副部長）松下

書記：伊東・木村

会員管理情報

慶事 0 件 弔事 0 件 施設数 125 会員数 808 名

I. 審議事項（全 0 題）

なし

II. 報告事項

1. 関東甲信越ブロック理学療法士学会準備委員会：
第 34 回関東甲信越ブロック理学療法士学会開催
報告

（山田委員長）

前回の理事会での助言により、企業担当者へ直接寄付金依頼を行い、3 社から寄付していただいた。台風による影響を考慮し、関ブロ協議会との連絡体制をとった。関ブロ外の講師の参加費については招待へ変更した。参加者は事前登録 686 名（713 名中）、当日登録 247 名、非会員 19 名、学生 37 名の計 989 名。公開講座の一般参加者 35 名を含めると 1024 名の参加があった。今後は収支決算、協会へのポイント申請、事業報告書作成（来年 2 月）を行う。2016 年 2 月の士会長会議に関わる費用および第 35 回関ブロ学会での第 34 回表彰式に関わる費用の扱いについて審議がなされた。関ブロの収支については県士会で処理し、2 月の士会長会議に関わる費用は県士会が負担することとなった。関ブロの収支が赤字の場合は補正予算で対応する。第 35 回関ブロ学会の表彰式に関わる費用については来年度に予算立てをすることとなった。

2. 訪問理学療法委員会：活動と参加に焦点を当てた事例収集について

（小林委員長）

3 年計画で事例収集を実施していく。今年度は 9 月、12 月、2 月に事例報告を行うが、9 月の期限に間にあわない為、訪問リハ協議会理事が提出する。12 月、2 月はホームページにて公募予定。報告書のフォーマットはホームページに載せる予定。報告書サンプルの提示を願いたいとの意見が出された。

3. 地域連携部：「第 15 回地域理学療法研修会」開催

について

（笠井福祉厚生局長）

平成 27 年 11 月 18 日（水）の 19 時～21 時に開催予定。例年は 1 月だが年度末は行事が集中する可能性があり年内の開催とした。テーマは「地域での理学療法士の役割」とし、講師に株式会社 Conne の宮尾先生に依頼した。定員は 200 名程度を予定している。

4. 医療・介護保険部：「医療・介護報酬に関する基礎的研修会」開催について

（笠井福祉厚生局長）

例年通り場所を変えて 2 回開催する予定。テーマを「保険制度を理解し、安心して働こう」とし、講師を医療保険に両宮直樹先生、介護保険に河野裕一先生に依頼した。対象は経験年数 1～3 年目を優先とした。

5. 公開講座部：第 34 回関東甲信越ブロック理学療法士学会市民公開講座について

（井村企画局長）

9 月 13 日（日）、アピオ甲府にて実施した。今回は関ブロとの共催にて実施し、参加人数 145 名、内一般は 35 名、会員は 110 名程度。会員の参加者が不明確なため現在確認中。開催後に部内会議を実施し、話がわかりやすくて良かった、水泳関係者に対象が限られてしまった、広報に時間をかけるべきだった、などの意見が出された。反省点については今後の事業に活かしていきたい。

6. 法人担当理事：役員選挙管理規定について

（井村法人担当理事）

理事の任期が 2 年であり来年役員選挙となる。役員候補選挙管理規定を修正し第 14 条までとした。各自内容を確認し次回会議にて審議願いたい。

7. 都道府県士会事務局長会議参加報告

（磯野副会長）

会議は将来構想、講習会の移管、会員管理などが内容の中心であった。講習会については都道府県単位の自治体主体へ移行し、参加者が集まりにくい研修会は協会主催で、それ以外は自治体主体が望ましい。また、施設の管理者クラスが士会の活動に参加しなくなっている傾向にあり、協会の指定管理者や認定管理者を設けるなどで管理者育成にも重点を置くべきなどの話がなされた。会員管理では、自宅会員が増加傾向にあり郵送費の増加、正確な人数把握が難しいなどの問題点がある。半田協会長からは士会組織は長期政権でお願いしたいとのこと。

8. 事業管理部：事務員の外部委託に向けたアンケートの進捗状況

（藤田事務管理局长）

結果からは現状で週 2～3 回程度、3 時間の作業時間が必要であるが、実際には郵便・メール振り分け作業などは毎日必要となってくる。今後も検討を継続

していくが費用対効果なども踏まえて意見を頂きたい。

9. 事務管理局长：後援承諾について

(藤田事務管理局长)

山梨県作業療法士学会、山梨県言語聴覚士学会への後援を承諾した。

10. 事務管理局长：医療功労賞の推薦について

(藤田事務管理局长)

藤本欽也先生を推薦した。

III. その他

1. 会長挨拶

関ブロ学会が無事に成功し、皆様ご苦労様でした。士会長会議に出席し、前回の議題に挙げたスポーツ・メディカル・サポート会議については、正式に関ブロ協議会の委員会に位置づけされ、スポーツ関連事業委員会として立ち上げることとなった。また、新人教育担当者会議の名称が生涯学習担当者会議に変更され、生涯学習担当者会議の開催に関ブロ学会に合わせて欲しいと要望した。11日の臨時の士会長会議に磯野副会長が出席した。23日に三士会の協議会の研修会を開催した。県から依頼があり、講師は畑山先生(兵庫)で、150~160名の参加者があった。直近では中間監査があるので、活動報告、中間決算報告等の協力を願いたい。半年後には県士会の役員選挙がある。皆さん立候補していただき、新しい組織立ての検討を願いたい。

2. 高村学会長挨拶

あらためて御礼申し上げます。詳細は準備委員長から本日報告があるが、報告書に関しては現在作成中で後日協議会へ提出する。

3. 次回の理事会日程について

日時 平成27年10月27日(火) 19:00~

場所 県士会事務所

駐車場：湯村温泉病院敷地内

連絡 10月23日(金)までに審議事項および資料を事務管理局(藤田)へ提出する。
議題がない場合でも、事務管理局へ連絡する。